

# 学校だより **明るく 元気に たくましく**

広島市立広島特別支援学校

校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

FAX 082-250-7102

平成31年2月28日発行

E-mail : [yougo-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yougo-s@e.city.hiroshima.jp)

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>

ライオンズ国際平和ボスタ  
ー・コンテスト  
広島もみじ特別賞受賞作品  
中学部第1学年 魚次 謙伸



## □ はじめに

猛威を振ったインフルエンザの大流行も収まり、天気の良い日は暖かな日差しの中に、春を感じる季節となりました。今年度も残すところ僅かとなり、各学年とも、進級、卒業に向けての取組を行っています。

高等部「3年生を送る会」、小学部「卒業おめでとう会」中学部「卒業生を送る会」と各会で、在校生より卒業生へ心を込めた御祝いの歌や言葉、プレゼントが贈られました。



小学部「卒業おめでとう会」



高等部「3年生を送る会」



中学部「卒業生を送る会」

3月8日（金）には、高等部卒業証書授与式において、85名の生徒が本校から巣立ちます。また、3月15日（金）には小・中学部の卒業証書授与式において、小学部6年生18名、中学部3年生25名が卒業証書を授与されます。卒業は人生の大きな節目です。それぞれの学部で学んだことを大切に、児童生徒がお互いの成長を認め合い、励まし合いながら先へと進んでいくための契機となるよう取り組んでまいります。是非、多くの皆様に出席していただき、卒業生を祝福していただきたいと思っております。

## □ 高等部入学者選考と小・中学部入学調査



高等部入学者選考全体会の様子

2月5日（火）に、高等部普通科の入学者選考を、2月6日（水）に、高等部普通科職業コースの入学者選考を実施しました。後日受検した生徒を含め普通科66名、職業コース20名、計86名が受検しました。受検者は、皆、真剣に受検に取り組んでいました。本校生も日頃の学習成果を発揮しようと、受検という独特の緊張感の中、一生懸命取り組んでいました。後日受検者も含めて、合格者数は、職業コース16名、普通科70名で、2月15日（金）に、合格発表を行いました。3月25日（月）には、本校高等部入学説明会を実施します。

また、2月20日（水）に、小・中学部入学調査を実施しました。小学部は31名、中学部は42名の入学調査を行いました。児童生徒の活動の様子や保護者の方との面談から、児童生徒の実態把握をするとともに、医療的ケア、食物アレルギーに関する事項、給食の食形態等について、保護者の方から配慮事項をお聞きしました。後日調査を行う幼児児童を加えて、現在のところ、小学部は31名、中学部は本校小学部からの進学者を含め、44名の新入生を迎えます。

高等部の入学式は4月9日（火）、小・中学部の入学式は4月10日（水）です。本校を選んでいただいた幼児児童生徒、保護者の皆様の期待に応えられるよう、更なる教育内容の充実にも努めてまいります。

## □ 小学部低学年学習発表会



第1学年



第2学年



第3学年

2月15日（金）の参観日に、小学部低学年の学習発表会を行いました。今年は、初めて各学年単独で行いました。

第1学年は、劇中に和太鼓や木琴、ベルなどの器楽演奏に歌、バランスボールや三角ハードルの実演などを盛り込み、かわいらしい姿を披露しました。初舞台での一生懸命な姿に保護者の皆様から惜しみない拍手が送られていました。第2学年は、マラカスと木琴の演奏をするグループ、ボールを的に当てるグループ、ペアになって歌に合わせて動物を演じるグルー

ブ、CC ダンスをするグループと、グループ別の発表をしました。一人一役を大切に皆で会の進行もしました。昨年の初舞台から一年、心も体も一回り大きくなった姿に大きな拍手が送られました。第3学年は、「おむすびころりん」の劇を発表しました。子どもたちは、ねずみに扮して前転、後転する演技、ペアでする息の合ったお餅つきの演技や釣り竿を操って魚をゲットする演技などを披露しました。また、低学年の最高学年にふさわしく挨拶係や幕間の歌係、幕間の演題めぐり係についても責任をもって、友達と協力しながら行いました。保護者の皆様には一年一年成長する姿をしっかりと見ていただけたと思います。

御家族の方やいつもお世話になっている方々に見守られ、子どもたちは、もてる力をしっかり発揮できたと思います。これからもたくさんの方に挑戦してほしいと願っています。

## □ 広島市立広島工業高等学校製作スイッチ



「動け！ミキサー」

2月12日(火)に、広島市立広島工業高等学校情報電子科第3学年新村さんが、本校児童生徒のために100Vリレースイッチ「ユウくん」を製作して届けてくださいました。早速、高等部第2学年作業学習紙工グループの生徒が試行しました。ビックマックを使ってスイッチを入れると、紙すきのミキサー3台が回る、回る！「自分たちが作ったものを実際に使っていただき、うれしかった。」と新村さん。御協力をいただきました広島市立広島工業高等学校の生徒・関係者の皆様ありがとうございました。これからも、2校の交流が続くことを願っています。

## □ 地域生活・就労支援ネットワーク会

2月13日(水)に、相談支援機関及び施設との連携を図ることで、児童生徒の地域における生活や就労の支援を進めることを目的に平成30年度地域生活・就労支援ネットワーク会を開催しました。社会福祉法人もみじ福祉会、きつつき共同作業所、おりづる作業所、森の工房、障害者支援施設いくせい 育成会相談支援センター、障害者生活支援センターめーぷる、広島市子ども療育センター地域支援室、相談支援事業所光清学園、瀬野川学園障害者相談支援事業所、広島市教育委員会特別支援教育課指導主事、本校PTA等、多くの関係機関の方々に御参加いただきました。卒業後も生き生きと生きていけるよう、切れ目のないつながった支援が必要であるというお話しを伺いました。また、困った行動があるとなれば、背景を家族とともにつかみ、子どもの特性を知り、小さいときから行動形成を図ることの大切さも伺いました。今回も大変有意義な会となりました。関係者の皆様、ありがとうございました。



地域生活・就労支援ネットワーク会の様子

今後とも本校の児童生徒が卒業後も豊かに生活ができるよう、各関係の皆様と連携を図りながら指導・支援に努めてまいります。

## □ 学校保健委員会



学校保健委員会の様子

2月14日(木)に、第2回学校保健委員会を行いました。今回は、森美喜夫学校内科医からインフルエンザについての講話をいただきました。インフルエンザ予防には、加湿、換気が大切であることや、罹患した場合には、安静、こまめな水分補給に努めることなど再確認しました。また、太田行紀学校耳鼻科医からは、スギ花粉はもう飛散しているので、毎年症状のある人は薬を飲み始めた方がいいというアドバイスをいただきました。上田裕次学校歯科医からは、在学中に歯科受診の経験をさせることが望ましいことと、二葉の里にある広島市口腔保健センターの紹介をいただきました。福原宏平学校整形外科医からは、けがをした際には化膿等を防ぐために、必ず水で患部をきれいに流してごみなどを取ってから絆創膏を貼った方がよいというアドバイスもいただきました。本校からは、

平成30年度の学校保健行事計画、食育の取組等について報告させていただきました。これからも、安全・安心な学校づくりに努めてまいります。

## □ 学校協力者会議

2月22日(金)に、第3回学校協力者会議を行いました。今回は、7名の学校協力者会議委員の皆様に出席していただきました。

私より学校の現状や平成30年度学校経営計画最終評価について説明しました。委員の皆様から、本校職員が研修に積極的に熱心に教育に取り組んでいることを評価していただきました。また、研修したことが消化不良にならないようにして、一人一人のニーズに応えられるよう研鑽に努めてほしいという励ましもいただきました。

いただいた御意見を今後の学校教育の発展に向け、生かしていきたいと思っております。委員の皆様、ありがとうございました。



学校協力者会議の様子

※ 御来校いただいた方々(教育相談での見学は除いています。)

月 日	団 体 名 等	人 数
2月 8日(金)	城南ロータリークラブ様	6名
2月25日(月)	学校と放課後等デイサービスとの連携についての講演会参加者の皆様	約180名